

東京都手話サークル連絡協議会

2016 年度 定期総会

議 案 書



2016 年 4 月 29 日 (祝) 13 : 00 ~ 14 : 30

於 : 渋谷区 リフレッシュ氷川

2016 年度 定期総会 次第

司会：事務局長

1. 代表あいさつ
 2. 来賓あいさつ
 3. 議長選出
 4. 総会成立の確認（2015 年度 加盟数 26 / 定足数 14）
 5. 2015 年度 活動報告
 - 1) 総括
 - 2) 事務局報告
 - 3) 広報班 活動報告
 - 4) 一日研修会報告
 - ① ブロック企画
 - ② 事務局企画
 - 5) 各委員会報告
 - ① 福祉対策会議
 - ② 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会
 - ③ たましろの郷後援会役員会
 - ④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会
 - 6) 協力行事報告（①②③実行委員会・④当日要員）
 - ① 自立支援センターまつり
 - ② 耳の日記念文化祭
 - ③ 東京都のろう教育を考える会
 - ④ たましろフェスタ 2015 in 新宿
 - 7) 質疑応答
 6. 2015 年度 活動報告 一括承認
 7. 2015 年度 会計報告
 - 1) 収支決算報告
 - 2) 会計監査報告
 - 3) 質疑応答
 8. 2015 年度 会計報告 承認
 9. 2016 年度 活動（案）
 - 1) 活動方針(案)・質疑応答
 - 2) 年間計画(案)・質疑応答
 - 3) 予算(案)・質疑応答
 - 4) 公益社団法人 社員について・質疑応答
 10. 2016 年度 各案 個別採決
 - 1 1. 役員改選
 - 1 2. 今年度会計監査担当ブロック確認
 - 1 3. 議長退任
 - 1 4. 閉会
- （ ※総会終了後 第 1 回担当者会議に移行 14：40～16：00 報告 20 分 ）
～ 全員で原状復帰 16：30 退室（時間厳守） ～

2016 年度 総会資料 目次

1. 2015 年度 活動報告

- 1) 総括…………… 2 頁
- 2) 事務局報告…………… 3～5 頁
- 3) 広報班 活動報告…………… 6 頁
- 4) 一日研修会報告
 - ① ブロック企画…………… 7 頁
 - ② 事務局企画…………… 8～9 頁
- 5) 各委員会報告
 - ① 東京都聴覚障害者福祉対策会議…………… 10～11 頁
 - ② 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会…………… 12 頁
 - ③ たましろの郷後援会役員会…………… 13 頁
 - ④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会…………… 14 頁
- 6) 協力行事報告（①②③実行委員会・④当日要員）
 - ① 自立支援センターまつり…………… 15～16 頁
 - ② 耳の日記念文化祭…………… 17～18 頁
 - ③ 東京都のろう教育を考える会…………… 19 頁
 - ④ たましろフェスタ 2015 in 新宿…………… 20 頁
- 7) 2015 年度 収支決算報告…………… 21 頁

2. 2016 年度 活動（案）

- 1) 活動方針(案)…………… 22 頁
- 2) 年間計画(案)…………… 23～24 頁
- 3) 予算(案)…………… 25 頁
- 4) 会則…………… 26～27 頁

3. 役員改選…………… 28 頁

1. 2015年度 活動報告

1) 総括

東京都手話サークル連絡協議会
代表 高田 直樹

平成27年度の東京都手話サークル連絡協議会(都サ連)は、26サークルでスタートしました。加盟サークル数の減少に危機感がありながら、今年度の加盟サークル訪問は一つで、未加盟サークル訪問の実現はできませんでした。来年度はなんとか幅広く訪問したいと思っています。

2020年の、東京オリンピックを見据え、11月8日「TOKYO手話カレッジ」が開催されました。そのPRのために大学の手話サークルを訪問しチラシの配布や情報交換をすることができました。ブロック企画と事務局企画の両方の一日研修会にも来て頂くことができました。

日本財団と全日本ろうあ連盟は、手話の法的な位置づけと、手話で情報を得たり、手話で自由にコミュニケーションがとれる社会の実現のために、2013年10月より全国的に「手話言語法制定を求める意見書」自治体議会請願運動を進めてきました。本年3月3日栃木県芳賀町議会で採択されたことを受け、意見書採択率100%を達成しました。

これは、8月28日「手話言語法制定を求める全国集会」パレードや12月12日、13日の情報アクセシビリティフォーラムの成功が、意見書採択100%につながっているのです。都サ連からも大勢の参加があり、全日本ろうあ連盟の運動を支えることができたと自負しています。聞こえない人たちが自身の権利を獲得、行使するために、これからも共に力を合わせて運動を進めていきたいと思っています。

震災から5年、都サ連は「忘れない東北！」を実現するために、2013年に続いて二回目の被災地福島バスツアーを実施しました。福島県手話サークル連絡協議会との交流や東日本大震災を体験された方の生の声、津波被害を受けた現地を見て、恐ろしさと同時に復興が進んでいない現地の様子に驚きました。また、地震発生時、第一原発の4号機で作業中だったという平山氏のお話は、想像を絶するものでした。復興にはまだまだ時間を要します。さまざまな形の支援が、もっともっと必要なのだと強く思いました。

都サ連としましては、私たちの進むべき方向性を再確認し、地域で活動する手話サークルが結束することで、活動の門扉を広げることができると考えています。確かに一人ひとりの力は微々たるものかもしれませんが、それでも、その力を合わせれば必ず大きな運動に繋がると信じています。その運動は必ず実を結び、花を咲かすことが出来ると信じています。これからは自分の地域の問題を考えるだけでなく、東京都や全国の障害を持つ人の完全参加と平等を目指し、都内の手話サークルや関東・全国の手話サークルと力を合わせ運動の輪を広げていきたいと思っています。

聴覚に障害のある方々の基本的な人権を守り情報格差をなくし、福祉の向上や力強い運動を目指すためには、都内の手話サークルが結束し、運動団体としての力を結集させなければなりません。これからの都サ連が結束し、東京都聴覚障害者連盟との強力な協力関係を構築するためにも、加盟サークルの力を貸して頂きたいと思っています。是非ともよろしくお願いします。

2) 事務局報告

事務局長 河野悠子

1. 2015年度 加盟サークル … 26 サークル

ブロック	サークル名	地域	ブロック	サークル名	地域
城南 (7)	大田区手話サークル	大田区	多摩北 (3)	手話サークルむさしの(昼)	武蔵野市
	港区手話サークル 麦の会	港区		手話サークルむさしの(夜)	〃
	手話サークル「て」	〃		立川手話こぶしの会	立川市
	品川手話サークル	品川区			
	めぐろ手話の会	目黒区			
	手話サークル たんぽぽ	世田谷区			
	渋谷手話の会	渋谷区			
城北 (10)	手話サークル江東	江東区	多摩南 (6)	八王子手話サークル 桑の実会	八王子市
	手話サークル葛飾	葛飾区		八王子手話サークル 「山吹会」	八王子市
	北区手話サークル	北区		府中市手話サークル かんたん	府中市
	板橋手話サークル	板橋区		手話サークル「てとて」	府中市
	手話サークル 練馬こぶし会	練馬区		手話サークル まちだ	町田市
	だるま会	中野区		多摩市手話サークル 「クローバー」	多摩市
	手話サークル 杉の会	杉並区			
	文京手話会	文京区			
	新宿区手話サークル	新宿区			
	手話サークル「すみだ」	墨田区			

2. 2015年度役員

代表	高田 直樹 (たかだ なおき)	手話サークル まちだ
事務局長	河野 悠子 (かわの ゆうこ)	板橋手話サークル
会計	剣持 敦子 (けんもち あつこ)	だるま会

3. 会議等開催実績

(1) 担当者会議

回	月	日	曜	内容	開催会場	参加数
1	4	29	祝	定期総会	世田谷区 下北沢 らぶらす	出席 22・委任 3
2	6	28	日	例会	練馬区 光が丘区民センター	21 サークル
3	8	30	日	例会	立川市 高松学習館	20 サークル
4	10	25	日	例会	渋谷区 リフレッシュ氷川	16 サークル
5	12	6	日	例会	府中市 中央文化センター	15 サークル
6	2	28	日	例会	北区 赤羽会館	18 サークル

※ 会議等の詳細は「各回の担当者会議 記録」をご参照ください。

(2) 事務局会議

回	月	日	曜	開催会場	出席数	備考
1	4	1	水	世田谷区 下北沢らぷらす	8	
2	4	12	日	板橋区障がい者福祉センター	5	議案書印刷・発送
3	5	13	水	世田谷区 下北沢らぷらす	6	
4	6	4	水	世田谷区 下北沢らぷらす	7	
5	7	2	木	世田谷区 下北沢らぷらす	7	
6	8			休 み		
7	9	3	木	世田谷区 下北沢らぷらす	6	
8	10	1	水	世田谷区 下北沢らぷらす	4	
9	11	5	水	世田谷区 下北沢らぷらす	8	
10	12	3	木	世田谷区 下北沢らぷらす	7	
11	1	14	木	世田谷区 下北沢らぷらす	6	
12	2	4	木	世田谷区 下北沢らぷらす	6	
13	3	2	水	世田谷区 下北沢らぷらす	8	

※ 会議の詳細は「各回の事務局会議 記録」をご参照ください。

(3) 一日研修会

回	月	日	曜	担 当	開催会場	来場者数
1	9	27	日	多摩南ブロック	東浅川保健福祉センター	143名＋4名
2	1	17	日	事務局	日大文理学部	201名＋8名

4. 2015年度の主な活動

(1) 担当者会議の開催（年6回：開催日は3-(1)参照）

<今年度の主な課題>

- ① 都サ連を知る・都サ連を知ってもらう。
- ② 加盟サークル同士を知る。
- ③ 都サ連だから出来ることを考える。

<課題に対しての活動>

- ① 区市会長会議において、地域サークルに対して都サ連への加盟を勧めってもらう文書を、東聴連の協力を得て各区市会長宛てに配付した。
一日研修会・フェスタパン屋・耳の日記念文化祭等に都サ連腕章を付けて活動した。
新規の都サ連担当者に対して資料を配付し、担当者会議等の概要を説明した。
- ② 加盟サークルの活動日一覧表の配付。
サークルからの疑問・質問に対する情報交換。
模擬例会の紹介（担当者会議の準備担当ブロックにお願いした。）
- ③ 東日本大震災の被害3県に対する支援の一環として、今年度は福島へのバスツアーを企画・実施した。
昨年度に引き続き、今年度も「手話言語法制定を求めるパレード 2015 夏の陣」に、6サークル約50名が、都サ連から参加した。

(2) 事務局会議の開催（開催日は3-(2)参照）

<今年度の主な課題>

①事務局会議の位置づけ、出席者及びその関わり方を再確認する。

<課題に対する対処>

①事務局会議の位置づけが、会則の改正によって明文化された。(第6条・15条)

②事務局会議への出席者の拡大

代表・事務局長・会計・広報班・事務局員に加え、各委員・各実行委員にも参加をお願いし、出席者を増員した。

②事務局会議のシステム化

事前準備（開催通知・出欠確認・議題の作成・各委員会報告の掲載など）

事後処理（記録案の作成・チェック・正式記録の作成・加盟サークル配信）

事務局MLによるメンバー間の情報共有

(3) 一日研修会の開催（年2回：詳細は一日研修会報告を参照）

①第1回（9/27）…多摩南ブロック担当

午前「聴導犬を知ろう」

講師：日本聴導犬推進協会

午後「ワークショップ」

講師：庄崎隆志氏

②第2回（1/17）…事務局企画

午前「ろう運動の必要性と手話サークルへの期待」

講師：久松 三二氏

午後「わたしの生き立ち」

講師：早瀬 久美氏

(4) 会報「都サ連通信」発行（年6回）

<主な掲載記事>

各委員会報告・広報班活動報告・一日研修会報告・行事協力報告・行事参加報告 等

<課題>

会報の掲載記事等、内容についての問題提起は特になかったが、メール便の廃止による郵送費の負担増、会報の編集協力者の増員などが来年度に向けての課題。

(5) 以下の会議に構成団体として参加（詳細は各委員会報告参照）

① 東京都聴覚障害者福祉対策会議

② 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会

③ 自立支援センター運営委員会

④ たましろの郷後援会役員会

⑤ 東京都のろう教育を考える会

(6) 以下の行事に実行委員または要員として参加協力（詳細は各協力行事報告参照）

① 第17回 自立支援センターまつり（7/20）

都サ連要員数 35名

② たましろフェスタ2015 in 新宿（11/8）惣菜パンの販売

7名

③ 第45回 耳の日記念文化祭（3/4・3/5・3/6）

3日間延べ 127名

(7) 単年度会計へ向けての努力（継続）

① 事務局長宅のFAXを年経費2,000円にて借用。

② 一日研修会の内容を充実させ、幅広く参加を呼び掛け、黒字を目指す。

③ 加盟サークル数が30サークルを超えるよう協力して働きかける。

3) 広報班 活動報告

広報班 大木知也 (八王子手話サークル山吹会)

今年度の広報班は、前年度までの山崎委員から役割を引き継ぎ、事務局内でも積極的に協力を求めながら努めてきました。

しかしながら、未加盟サークルからの「会議に出席する人員がない」「会費を払えない」「具体的なメリットがわからない」などの声に対する具体的な説得には目処がつかず、未加盟サークルへの個別の働きかけはほとんどできませんでした。

反面、学生サークルとは、加盟サークル増加へは直接的には繋がらないものの、都サ連一日研修会への招待参加(ブロック企画2団体4名、事務局企画4団体8名)や、大学祭等発表会の案内計15団体と、お互いに情報交換のできるつながりが広がりました。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「TOKYO手話カレッジ」開催のチラシ配布や交流などもでき、今後お互いにプラスの方向に広がる展望もあります。

今年度の例会への訪問は12月22日の「大正大学手話サークルPockey」の1件。交流会への訪問は、6月6日「日本大学文理学部手話研究会 PEACE」、6月27日「帝京大学手話サークル com&com」、6月28日と11月8日「駒澤大学手話サークルかえで」の3団体4回。大学祭等発表会の案内があったところへは挨拶を兼ねた訪問をし、サークル発表のありそうな大学祭へも足を運んできました。交流会への参加は、お互いに話のできる時間が十分に取れる上、別の団体との接点も持てるため、学生サークルと関わる機会としてより貴重なものでした。

行事での腕章着用などによって都サ連としての活動がより可視化され、パンフレットやホームページの整備、また委員会活動等のおかげで都サ連の認知度は高まっています。

ただ未加盟サークルへの働きかけのためにはまず、加盟サークル自身が都サ連というネットワークを再認識し、より自発的に有効活用することによって、都サ連の必要性を高めていくことが下地として不可欠であると痛感しています。

2016年3月末時点で連絡の取れている学生サークル一覧(順不同)

法政手話サークルわたがし、東京理科大学手話サークル SSL、
東京理科大学手話サークルサインデイズ、早稲田大学手話さあくる、
慶應義塾大学手話サークル MiMi、北里大学手話部(白金)、北里大学手話部(相模原)、
日本大学文理学部手話研究会 PEACE、帝京大学手話サークル com&com、
帝京大学手話サークル poco a poco、駒澤大学手話サークルかえで、
上智大学手話サークルてのひら、國學院大学ボランティアサークル Sign、
学習院大学手話サークルのぞみ、東京成徳大学手話サークル、
東京大学手話サークルしゅわっち、大正大学手話サークル pockey、
立教大学手話サークルテブクロ

以上18団体

4) 一日研修会報告

①ブロック企画（多摩南ブロック）

多摩南ブロック一日研修会実行委員

【実施報告】

実施日：2015年9月27日（日）10:00～16:00

会 場：東浅川保健福祉センター（八王子）

内 容：第一部「聴導犬を知ろう」（講演・デモンストレーション）

第二部「アートボディコミュニケーション」（ワークショップ）

来場者：147名（加盟サークル142名 / 一般1名 / 招待4名）

【収支報告】

収入…143,500円（内訳：参加費 1,000×142名 1,500×1名）

支出…137,580円（内訳：講演料 53,030、PC通訳謝礼 12,000、諸経費 72,550）

※日本聴導犬推進協会（旧聴導犬普及協会）に10,000円寄付。

残金…5,920円（残金は本部会計へ）

2015年度は多摩南ブロックが一日研修会を企画・運営担当のため、引継ぎ後すぐにメーリングリストを作成し、2か月に一度の担当者会議とメールでの話し合いを重ねてきました。引継ぎ内容を参考に、研修内容、講師等は早めに確定しましたが、結果的に行事の多い時期の開催になり、要員確保が難しい面がありました。

会計においては、2014年度の資料を参考に予算立案等をスムーズに進めることができ、黒字を出すことができました。

講演内容としてはどちらも好評でした。しかし第一部の聴導犬ユーザーの方の講演の際、「聞こえないとはどういうことか、聴覚障害者が日常的に困っていることは何か？」等、基本的なことからお話をいただきましたが、手話サークルや手話関係者が集まる場では不要であったかもしれません。その点、企画側と講師との間での打ち合わせで、講演内容等詳しく詰める必要があると感じました。第二部では、ワークショップを通し、「コミュニケーションとはお互いが理解し合うこと」ということを実感できました。しかし当日の正確な参加者数を講師にお伝えしていなかったため、当日の会場で講師に大人数の参加者に対応していただくことになってしまいました。こちらも企画側と講師との間で参加者数等も含め、細かく打ち合わせをする必要があると感じました。

実行委員としては、事前準備から当日の運営まで協力し合っただけかと思いますが、担当者会議だけでは時間が足りない面がありました。2014年度同様、月に一度程度の会議が必要かもしれません。しかし大変な面もありましたが、事務局はじめ、通訳や要員としてお手伝いいただいたサークル会員の皆さま、要約筆記サークルの皆さまのおかげで、研修会を無事に終えることができました。ありがとうございました。

② 事務局企画

事務局

【実施報告】

実施日：2015年1月17日（日）10:00～16:00

会場：日本大学 文理学部 3号館 3205 教室

内容：午前の部（10:00～12:00）

「ろう運動の必要性と手話サークルへの期待」 講師 久松三二氏

午後の部（13:30～15:30）

「わたしの生き立ち」 講師 早瀬久美氏

来場者：209名（22加盟サークル/190名・一般11名・招待8名）

【収支報告】

収入 … 206,500円（内訳：参加費1,000×190名 1,500×11名）

支出 … 84,086円（内訳：謝礼60,000、要員手当11,000、諸経費7,508、交流会5,578）

※今後も使用が見込まれるため、都サ連所有のHUB（2,440円）を購入した。

残金 … 122,414円（残金は本部会計へ）

【準備】

借用会場：3号館 3205 教室（メイン会場 15脚×16列）

3202 教室（講師控室）

3201 教室（要員クローク）

借用機材：マイク3（ワイヤレス2・コード付1）・引出式スクリーン1

PC通訳用プロジェクター1・HUB・LANケーブル・案内板3・各種コード

3205 教室（備付け：スクリーン2・PC2・プロジェクター1）

案内板設置箇所：正門正面・3号館へ右折表示・昇りエレベーター脇

大学との事前打合せ：1月16日（土）

【担当】

集合：8時30分 3号館1階ロビー

会場設営（案内板設置、控室整備、受付機の運搬など）：事務局全員

受付：林紀子・滝澤裕佳・山田恵理子・天野京子（兼：たましろグッズ販売）

会計：剣持敦子・森野郁子（一般参加者・招待学生対応）

講師接待：杉石めぐみ（※久松氏到着9時30分・早瀬氏到着13時）

全体調整：河野悠子

機材の設置及び調整：高田直樹・天野京子

ビデオ撮影：午前 滝澤裕佳 午後 大木知也

司会：天野京子（午前・午後）

情報保障：PC通訳（午前4名・午後4名） 手話通訳（午前2名・午後2名）

※意思疎通者派遣を申し込み承認された。（都サ連として謝礼の負担なし）

【アンケート】

参加者：209名 アンケート回収 150枚（回収率 約72%）

◇参加回数：初めて50名 2回目34名 3回目20名 4回以上43名 無記入3名

◇久松さん・早瀬さんとも「大変良かった」との意見が大半でした。

・久松さん…

とても分かり易いお話だった。

サークルの歴史の振り返りになった。

サークルの役割を改めて考えさせられた。

・早瀬さん…

魅力的な方。元気をもらった。

お話が盛りだくさんだった。

薬剤師としてのお話が参考になった。

東日本大震災への支援も含め、多才で活動的な方。

スライドがめまぐるしかった。資料が欲しかった。

◇会場について

・会場がきれいで良い。

・交通が便利。（多数意見）

・駅から遠い。（少数意見）

・寒かった。

◇情報保障について

・情報保障がしっかりしていた。（多数意見）

・通訳が素晴らしかった。

・読み間違いが気になった。（少数意見）

・スクリーンが見にくかった。（少数意見）

◇気になったこと

・昼休みが長すぎる。（少数意見）

・サークル紹介は不要、その時間も講演を。（少数意見）

◇良かったこと

・毎年の講師のチョイスが良い。

・午前・午後の組み合わせが良い。

・司会が良かった。

・参加サークルの紹介が良かった。

・充実した内容だった。

◇その他

・また参加したいという声と、スタッフへのねぎらいの言葉も多数頂いた。

5) 各委員会報告

①東京都聴覚障害者福祉対策会議

委員：高田直樹（代表 手話サークル まちだ）
林 紀子（手話サークル 杉の会）

福祉対策会議は、原則毎月第一月曜日に開催され、全国の動向を捉えつつ、東京における聴覚障害者の福祉向上を目指し、議論を行っています。東京都手話サークル連絡協議会（以下、都サ連）は構成団体のひとつであり、会議記録作成も担当しており、全国要約筆記問題研究会東京支部と東京都要約筆記サークル連絡会の三団体が交代で行っています。

さて、2006年の国連総会で『障害者の権利条約』が採択され、「手話は言語」であることが世界的に認められることになりました。日本が2007年に署名した以降は、急速な勢いで制度改革が進められてきました。2011年『障害者基本法』の改正時には「言語に手話を含む」ことが明記され、2013年には『障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律』が成立し、本年4月から施行となります。2014年に批准してからは、加速度を増して運動が広がっています。

手話言語法制定を国に求める意見書は、本年3月3日に栃木県芳賀町で採択されたことにより、全国の自治体議会1788で採択、100%達成となりました。全日本ろうあ連盟石野理事長らによる記者発表は、手話ニュースではもちろんのこと、マスコミで大きく取り上げられたのは記憶に新しいところです。また、手話言語条例を制定する自治体も相次ぎ、都道府県レベルでは、鳥取、神奈川、群馬、長野、埼玉、沖縄で成立、市町村を合わせると47（2016.4.4 現在）の地方議会で成立しています。

ろう者が、手話を学び手話で情報を獲得できる、自由に手話でコミュニケーションをとれる社会を実現するためには、そして、国民一人ひとりが手話を言語として理解し、豊かな言語・コミュニケーション環境を整備するためには、「手話言語法」が必要なのです。

福祉対策会議は、手話言語法（仮称）、情報・コミュニケーション法（仮称）の制定実現へ向けた運動を通じて、誰もが安心して暮らせるインクルーシブな社会を目指して活動を続けています。
（文責：高田・林）

【話し合いの主な内容】

- ① 手話言語条例制定への取り組みについて。
- ② 意思疎通支援事業への取り組みについて。
- ③ オリンピック・パラリンピックに向けての取り組みについて。
- ④ 東京都への要望と東京都福祉局との福祉懇談会について。
- ⑤ 参政権保障委員会の取り組み（コミュニケーションボードの普及、投票所のバリアフリー、被選挙権、衆参議院議員選挙など）について。
- ⑥ 情報提供施設への取り組みについて。
- ⑦ 金町学園への支援について。
- ⑧ 「We love コミュニケーション」「手話でGo!」パンフの取り組みについて。

《2014年度 主な会議日程》

- 4月6日 第97回 福祉対策会議
- 6月1日 第98回 福祉対策会議
- 7月6日 第99回 福祉対策会議（記録：都サ連）
- 7月23日 第37回 聴覚障害者施策推進地域担当者会議（地域担当者会議）
- 8月3日 福祉対策会議100回記念団体交流納涼会
- 9月7日 第100回 福祉対策会議
- 10月5日 第101回 福祉対策会議
- 11月9日 第102回 福祉対策会議（記録：都サ連）
- 12月7日 第103回 福祉対策会議
- 12月17日 第38回 地域担当者会議（記録：都サ連）
- 2月1日 第104回 福祉対策会議
- 3月7日 第105回 福祉対策会議（記録：都サ連）
- 3月29日 第39回 地域担当者会議

《記録担当者》

- 7月6日 河野悠子（都サ連事務局）
- 11月9日 河野悠子（都サ連事務局）
- 12月17日 山田恵理子（手話サークルたんぽぽ）・河野悠子（都サ連事務局）
- 3月7日 剣持敦子（だるま会）・河野悠子（都サ連事務局）

【構成8団体】

- 公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
- 認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会
- 認定NPO法人 東京盲ろう者友の会
- 東京都手話通訳問題研究会
- 東京都登録要約筆記者の会
- 全国要約筆記問題研究会東京支部
- 東京都手話サークル連絡協議会
- 東京都要約筆記サークル連絡会

② 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会

運営委員 高田 直樹（代表 手話サークルまちだ）
杉石めぐみ（手話サークル練馬こぶし会）

自立支援センターは、聴覚障害者の問題、手話の普及啓発事業として上級手話講習会、素晴らしい手話の世界(手話講座)、特別講演等を企画・実施しています。また、就労支援・生活支援などの相談支援事業を行っています。

都サ連から高田と杉石が運営委員として、自立支援センターの運営に関わっています。

運営委員会は原則第二土曜日 10～12 時自立支援センター多目的室にて開かれます。

2015 年度 運営委員会の開催日は以下の 11 回でした。

4 月 11 日(土)、5 月 9 日(土)、6 月 6 日(土)、7 月 11 日(土)、8 月は夏休み
9 月 12 日(土)、10 月 10 日(土)、11 月 14 日(土)、12 月 19 日(土)、1 月 9 日(土)、
2 月 13 日(土)、3 月 12 日(土)

運営委員は総務部(財務含む)・自立支援事業部・手話啓発事業部(杉石)・センター啓発事業部(高田)にわかれて担当します。

その他、7 月 20 日(海の日)の「第 17 回自立支援センターまつり」では、都サ連はスタンプラリー・福引・輪投げコーナーを担当し、運営委員としては会計を担当しました。

3 月 5 日(土)・3 月 6 日(日)の「耳の日記念文化祭」では、自立支援センターはバザーと模擬店(甘酒・お汁粉)を出店し、運営委員として手伝いました。

【構成団体】

公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
認定 NPO 法人 東京都中途失聴・難聴者協会
東京都手話通訳問題研究会
東京都手話サークル連絡協議会
渋谷区聴覚障害者協会

③ たましろの郷後援会役員会

役員： 神保沙織（大田区手話サークル）
天野京子（品川手話サークル）

今年度も都サ連からは2名が後援会役員として参加しました。

後援会では毎月の会議の他、皆様に「たましろの郷」「ろう重複者」のことを知っていただき、都内聴覚障害者の福祉事業充実に取り組む「社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会」を全面的に支える活動資金の一環にご協力いただけるよう、今年度も以下のような活動や行事を企画・運営いたしました。

- ・ たましろの郷活動報告集会
- ・ 講演会「私たちは聞こえなかった」
- ・ たましろの郷見学・交流バスツアー
- ・ たましろフェスタ in 新宿
- ・ 耳の日記念文化祭ナイトバー
- ・ たましろの郷ニュースの作成・配信
- ・ 後援会活動や施設を知っていただくための講座
- ・ 球根・カレンダー等販売
- ・ 牛乳パック募金箱

また事業部としては、今年度新しく決定した後援会シンボルマークを使ったグッズとしてクリアファイルを製作、販売いたしました。

これからも新たな企画やグッズ販売などを進めていく予定です。皆様のあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

【構成団体】

公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
認定 NPO 法人 東京都中途失聴・難聴者協会
東京都手話通訳問題研究会
東京ろう重複者とあゆむ会
東京都手話通訳者協会
東京都手話サークル連絡協議会
福保労東京手話通訳等派遣センター分会
たましろの郷世田谷委員会(世田谷)
たましろの郷板橋後援委員会(板橋)
八王子たましろの郷後援会(八王子)
葛飾たましろの郷後援会(葛飾)
たましろの郷練馬後援委員会(練馬)
ひのたましろの郷後援会(日野)

④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会

委員 三村和成（めぐろ手話の会）
高田直樹（代表 手話サークルまちだ）

本委員会は毎月第3月曜日に定例会議を開催し、委員会の方向性や情報保障のあり方について話し合った。

主な活動は、選挙に関連して、行政や各手団体、政党、議員への働きかけを行なった。また、例年と同じく都選挙管理委員会、および東京青年会議所との意見交換会も行なった。ろう者の区議である北区区議の斉藤里恵氏との懇談会も行なった。

本年は、特に大きな選挙もなく、毎年行なってきた政見放送のビデオ上映会は行なわなかった。地方選挙はいくつか行なわれた。参政権保障委員会としての活動は特になかったが、手話通訳者の肖像権に関する問題等について議論をおこなった。コミュニケーションボードの使用に関しては、ある程度、定着してきた感がある。

また、大きな選挙がなかったために、議論や懇談会が活動の中心であった。12月には、情報アクセシビリティフォーラムにて、コミュニケーションボードおよび参政権保障委員会の活動内容について展示を行なった。

1月の斉藤議員との懇談会では、選挙活動の進め方や、議員活動について、いろいろな話を聞くことができ、大変有意義であった。

ここ数年、インターネットを中心に、選挙を取り巻く環境が大きく変わりつつある。1票の格差についても国会で論じられ、選挙自体が変わろうとしている。健聴者にとっても分かりづらい選挙。ろう者を含むすべての障害者および有権者にとって、分かりやすく公平な選挙が望まれている。聴覚障害者にとって、選挙が公平になるように、幅広くいろいろな活動をしていきたい。

【2015年度 委員会の主な日程】

4月20日	参政権委員会	5月18日	参政権委員会
6月15日	参政権委員会	9月28日	参政権委員会
10月19日	参政権委員会	11月16日	参政権委員会
11月29日	参政権委員会（東京青年会議所との懇談会）		
12月12～13日	情報アクセシビリティフォーラムにて展示		
12月21日	参政権委員会		
1月7日	参政権委員会（斉藤区議との懇談会）		
1月18日	参政権委員会		
2月15日	参政権委員会（東京都選挙管理委員会との懇談会）		

【構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会
東京都手話サークル連絡協議会
東京都手話通訳問題研究会
全国要約筆記問題研究会・東京支部

6) 協力行事報告

① 自立支援センターまつり

実行委員 河野悠子 (事務局長 板橋手話サークル)
遠藤有子 (港区手話サークル麦の会)

【実施報告】

行事名：第17回 自立支援センターまつり
実施日：2015年7月20日 (月・祝)
会場：東京聴覚障害者自立支援センター・リフレッシュ氷川
実績 来場者数 … 約500人(招待者など含めたおおよその数)
パンフレット販売数 … 422部 (来賓等招待者に50部位配付)
ワンコイン資料販売数 … 185部

【実行委員会日程】

①3月30日 ②4月27日 ③5月25日 ④6月29日(拡大) ⑤8月10日(反省会)
計6回

【要員募集日程】

①7月19日(福引準備・会場準備)
②7月20日(当日)

※まつり実行委員会(事務局)で全ての要員配置を決めるため、都サ連担当企画の要員申込みも都サ連を経由せず、直接まつり事務局で行なった。
都サ連からの要員数35名。(まつり事務局に確認した数字)

【主な担当内容】

福引き・スタンプラリー・輪投げコーナー(景品準備・コーナー設営・当日運営)

【対応者数など】

1. スタンプ対応者数(実績)

時間 会場	9:45～	11～	12～	13～	14～	15～	～16:45	計
自立1F	53 (37)	61 (54)	115 (97)	50 (50)	32 (20)	13 (10)	3 (6)	327 (274)
自立3F	40 (39)	63 (58)	88 (99)	50 (55)	32 (18)	9 (8)		282 (277)
氷川B1	60 (38)	47 (72)	98 (81)	59 (39)	26 (24)	8 (14)		298 (268)
氷川4F	45 (35)	48 (41)	100 (81)	39 (35)	28 (19)	7 (21)		267 (232)
計	198 (149)	219 (225)	401 (358)	198 (179)	118 (81)	37 (53)	3 (6)	1174 (1051)

※ ()内は昨年の実績です。

2. 福引き来場者数

時間	～11	～12	～13	～14	～15	～16:30	～17	合計
人数	14	41	67	98	41	35	3	299 (子供3)
(昨年)	40		96	86	64	58		344 (子供5)

※16:30～17:00の30分間は、自立1階のみ受付。

3. 輪投げコーナー来場者数

時間	～11	～12	～13	～14	～15	～16:30	合計
人数	7	16	31	20	15	33	122

※輪投げ命中数 (1回に3投)

3投命中：6人 2投命中：22人 1投命中：42人 外れ：52人

【反省・次年度への引継ぎ】

(要員から)

- ・自立1階は、16時以降もスタンプが押せること、また17時まで福引きが引けることの周知が行き届いていないようだった。
- ・自立3階は場所が分かりにくい。誘導の貼紙があるといい。西陽がきつくカーテン等ほしい。
- ・プログラム(催し物と時間割)を各ポイントに置いたので、問合せに対応が出来た。
- ・スタンプを押しながらも交流が出来て良かった。

(実行委員から)

- ・輪投げコーナーは、今回初の企画だが、かなり好評だった。
- ・福引き要員は、午前・午後ともに4名ずつであったが人数としては適当だった。
- ・輪投げコーナー要員は、午前・午後各2名だったが欲を言えば3名ずつ欲しかった。
- ・まつり事務局から要員に対して事前に連絡をして頂いているが、全体共通の事項のみなので、福引き・スタンプ・輪投げの午後担当の方の集合場所やシフト、食券が出ることなどの周知が出来なかった。
- ・スタンプ・福引き・輪投げの担当を希望する要員(自立経由のろう者の方・東通研経由で希望する方を含む)の集約は都サ連で行った方が、内容等の問合せや注意事項の事前配付、当日の急遽の欠席連絡などに素早く対応できて便利ではないかと思う。
(実行委員会に、次回以降の検討をお願いした。)
- ・景品の種類や数量が減少しており、来年は広く募集する必要があると思われる。

○在庫品(センター保管)

リボン16個、切り身タオル2枚、切り身巾着2個、ティッシュ&ポーチ13個、BOXティッシュ6個、折り畳みミラー28個、クリアファイル&ノート27個、ミラクルドリームセット4個、マスキングテープ6個、ハート付箋133個、ティッシュ約250個

○当日の備品として用意する必要があったもの

養生テープ ビニール紐 白い紙 雑巾

②耳の日記念文化祭

『思いやりの心と手話で拓け 未来を！』

実行委員 河野悠子（事務局長 板橋手話サークル）
林 紀子（手話サークル杉の会）
森野郁子（北区手話サークル）

第45回耳の日記念文化祭は、2016年3月5日（土）～3月6日（日）の2日間開催され、延べ3,241名の来場者がありました。都サ連からは前日準備も含め、3日間で14サークル、延べ127名の方に要員としてご協力頂きました。

今年も会場は二か所で、バザー・書籍販売・模擬店・軽食など、販売を伴うものは「都立障害者福祉会館」、式典・講演会・福祉機器・団体活動紹介等の展示は「港勤労福祉会館」を使用しました。

メイン企画の那須英彰氏の講演は、『障害者差別解消法』をご自身の体験から話され、とても評判が良かったです。ただ、那須氏の人気のため、300の椅子席に対して、700名を超える集客があり、会場はとても混雑し、講演会を楽しみに来場されたのに会場に入らずに諦めた方もあったと聞いています。昨年は、舞台が狭くて危険、スクリーンが小さすぎて見えない、という反省があったので、今年はスクリーンも大きく、舞台も高さがあり、見やすくなったのではないかと思います。しかし、要約筆記は手書きでスクリーンも小さく、磁気ループの用意がなかったのは残念との声も聞かれました。講演会場が2階でエレベーターがないため高齢者や車椅子の方は大変、という声も毎年聞かれます。2つの会館の2階を繋ぐ非常用の通路を車椅子の方だけでも開放してもらえないかと、会館との交渉を続けてきましたが、今年は認められませんでした。諦めることなく、今後も粘り強く交渉を続けていきます。

障害者福祉会館の貸し出しが年々厳しくなっています。通行の妨げが懸念されるエレベーター前、盲ろう者の部屋の前にも要員をつけ、首から下げる案内板を使うなど、都サ連の皆さまにご協力いただいたおかげで、今年はだいぶ混雑が改善できたと思います。しかし、たましろの郷後援会のナイトバーに並ぶ行列を解消するための整理券配布では、さらなる混乱を引き起こしました。今後再考が必要です。今年達成できたことは、要員説明会を実際の会場で行い、会場図に案内要員の立ち位置を記載したこと。また、メイン企画スケジュールや会場案内図を会場入口に掲示した事などです。要員説明会では各担当からタイムシフト表が配れる状態にしたのですが、実際はその後も直前まで要員の申し込みがあったため、要員説明会で配られたシフト表と最新版のシフト表が違って、担当責任者も最新版を持っていないなどあり、現場では混乱をきたしました。要員をされた都サ連の皆さんからこのような状態に対し厳しいお言葉とともに、前向きな提案もたくさんいただいております。

今年の良かった面、悪かった面を一つずつクリアにして、また来年の耳の日に臨みたいと思います。皆さんの力が必要です。たくさんの方々のご協力を、引き続きよろしくお願い致します。

【要員(延べ数)】 127名(前日準備協力者も含む)

【来場者数】 2日間 延べ 3,241名

【実行委員会】 ①2015年 9月28日 ②2015年10月26日
③2015年11月16日 ④2015年12月21日
⑤2016年 1月18日(企業説明会) ⑥2016年 1月25日
⑦2016年 2月15日 ⑧2016年 2月22日
⑨2016年 3月28日(実行委員反省会)

【拡大実行委員会】 ①2015年12月21日 ②2016年2月15日

【要員説明会】 2016年2月20日

【全体反省会】 2016年3月6日(耳の日文化祭終了後)

【実行委員会の構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
東京都手話通訳問題研究会
東京都手話サークル連絡協議会

【拡大実行委員会の構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
東京都手話通訳問題研究会
東京都手話サークル連絡協議会
公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京聴覚障害者自立支援センター
社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会 後援会
指定障害者支援施設 たましろの郷
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会
認定NPO法人 東京盲ろう者友の会
NPO法人 全国要約筆記問題研究会東京支部
東京都要約筆記サークル連絡会
東京ろう重複者とあゆむ会
社会福祉法人 東京聴覚障害者支援センター
社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター
特定非営利活動法人 みみより会

③ 東京都のろう教育を考える会

実行委員 高田 直樹（代表 手話サークルまちだ）

「第26回ろう教育を考える全国討論集会」が、2014年8月に東京で開催されました。都サ連からも多くの方が要員として参加してくれました。ありがとうございました。その集会をきっかけに、東京でも継続的にろう教育を考えていきたいとのことで、翌年9月に「東京都のろう教育を考える会」を立ち上げました。都サ連にも実行委員会準備会の参加依頼があり、担当者会議で報告をして、協力団体として実行委員会に参加することになりました。

実行委員会で検討の結果、2016年2月10日に東京都のろう教育を考えるフォーラムを開催することが決まりました。東京都聴覚障害者連盟が主催で開催してきた『ろう教育を考える会』を引き継ぎ、第19回とすることになりました。

主催団体：「東京都のろう教育を考える会」「東京都聴覚障害者連盟」

協力団体：「NPO法人ろう教育を考える全国協議会」「東京都手話サークル連絡協議会」

「東京都手話通訳問題研究会」「全国要約筆記問題研究会・東京支部」

【第19回東京都のろう教育を考えるフォーラム】報告

午前の第一分科会「手話の環境とこれから」全日本ろうあ連盟・教育文化委員会委員長・小出真一郎氏と第二分科会「東京都における聴覚障害児教育計画と展望について」都立ろう学校長会会長・松本弘氏、午後の基調講演は「人工内耳について」大東文化大学教授・斎藤友介氏と特別講演「金町学園について」園長・濱崎久美子氏でした。

参加者は100名弱とやや少なめでしたが、これからのろう教育のあり方や聴覚に障害を持つ子供達の教育について熱心に話を聞いていました。

講師の話を聞いていて思うことは、教育には親の愛情と教師の目配りが必要であること、そして子供たちに夢を持たせること・生きる力を培うことができる教育でなければなりません。健聴児の教育もまったく同じです。一人ひとりの子供が自分らしく生きていくための教育には何が必要なのか、改めて考えさせられました。

聴覚障害児の入所施設金町学園は、平成30年に閉園が決まっています。未来の子供たちのために、「聴覚障害児の会」設立準備会を立ち上げ、東京都に金町学園存続の訴えをしています。みなさまのご協力をお願いします。

④ たましろフェスタ 2015 in 新宿

都サ連パン屋実施報告

担当：高田、河野、劔持、林、森野、滝澤、遠藤、高畑

【出店経緯】

昨年度初めて、都サ連としてフェスタに出店し、パンの販売を行なったが、思いのほか好評で、たましろの郷への寄付も 25,000 円出来たことから、引き続きパンの販売で協力し、今年度も収益をたましろの郷へ寄付することができた。

【出店内容】

- ・仕入先：新橋ベーカリー
- ・仕入数量：7種類 500 個（完売）
- ・要員：仕入運搬 2 名、販売 7 名

【収支報告】

収入：106,420 円（売上 104,000 釣銭寄付 2,420）

支出：76,420 円（仕入れ 67,690 運搬費・要員交通費等 8,730）

残金：30,000 円 → たましろの郷へ寄付

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
●パン売上		●仕入	
・カレーパン @180×100 個	18,000	・カレーパン @112×100 個	11,200
・メロンパン @180×100 個	18,000	・メロンパン @112×100 個	11,200
・クリームパン @180×100 個	18,000	・クリームパン @112×100 個	11,200
・バジリコフランク @200×100 個	20,000	・バジリコフランク @133×100 個	13,300
・ライ麦スイート @300×030 個	9,000	・ライ麦スイート @210×030 個	6,300
・黒ゴマハース @300×020 個	6,000	・黒ゴマハース @217×020 個	4,340
・胚芽イギリスパン @300×050 個	15,000	・胚芽イギリスパン @203×050 個	10,150
●寄付	2,420	●運搬費（高田）	3,454
		●要員交通費（7人）	4,844
		●レジ袋、養生テープ	432
		●たましろの郷への寄付	30,000
収入合計	106,420	支出合計	106,420

【反省】

- ・釣り銭（10 円玉 50 枚入×3本）を準備したが足りなくなった。→ 5 本要
- ・持ち帰り用のレジ袋（中1袋・小2袋）も足りなくなった。→ 小のみ 4 袋 要
- ・陳列スペースは狭かったが、販売の流れはスムーズにできた。

注文を聞く → トレイに取る → 計算する → レジに進む → 希望者は袋に入れる。

- ・今回は、要員への交通費を支払っても 30,000 円寄付することが出来た。

2015年度(2015.4.1～2016.3.31)収支決算報告

収入の部

(単位:円)

	予 算	決 算	備 考
分 担 金	130,000	130,000	26サークル×5,000円
雑 収 入	0	138,357	預金利息23円・講演料 一日研修会(多摩南ブロック)5,920円 一日研修会(事務局)122,414円
前年度立替金	4,346	4,346	郵送費(H25年度分13サークル)
前年度からの繰越金	202,183	202,183	
合 計	336,529	474,886	

支出の部

	予 算	決 算	備 考
通 信 費	10,000	11,746	総会資料・関係団体資料郵送料等
F A X 代	2,000	2,000	FAX代
広 報 費	10,000	180	パンフレット印刷原紙代
消 耗 品 費	10,000	2,567	コピー用紙・封筒代等
交 際 費	20,000	26,080	都聴覚障害者大会祝儀・中難協第30回集い参加費・ 年賀広告(中難協・東聴連)
会 議 費	10,000	5,460	事務局会議会場費
交 通 費	150,000	102,493	事務局会議・委員会等交通費
事 業 費	10,000	0	
雑 費	3,000	0	
今年度立替金	0	6,905	欠席サークル資料郵送費立替金
予 備 費	111,529	0	
小 計	336,529	157,431	
繰 越 金	0	317,455	
合 計	336,529	474,886	

特別引当金	600,000	600,000	
合 計	600,000	600,000	

上記相違ない事をご報告いたします。

2016年 4月10日

会計 劔持 敦子

上記相違ない事を確認いたしました。

2016年 4月10日

会計監査 松下 敏正

2016年 4月10日

会計監査 志知 枝里

2. 2016年度 活動（案）

1) 活動方針（案）

都サ連 代表 高田直樹

- (1) 東日本大震災と東京都手話サークル連絡協議会（都サ連）
震災から五年が過ぎ、被災地は少しずつ落ち着きを取り戻し始めていますが、復興への道のりはまだまだ遠い状態です。引き続き支援に取り組んでいかなければなりません。都サ連として被災地バスツアー第三弾を企画し実行したいと思っています。
- (2) 地域活動と東京都手話サークル連絡協議会
手話サークルの活動は、地域聴覚障害者協会の活動と車の両輪の働きです。都サ連も東京都聴覚障害者連盟と共に運動協力を進めます。都サ連の組織化のためにも加盟サークルの増加に努力します。
東京都聴覚障害者連盟を通して、「加盟のお願い」文書の配布
- (3) 広報班の活動の充実
 - ①運動を幅広く進めるために、加盟サークルに限らず未加盟サークルや大学サークルへも訪問し、都サ連加盟サークルの結束と拡充をめざします。
 - ②都サ連パンフレットや腕章を活用し広報活動に活かしていきます。
 - ③ホームページやFacebook を有効に活用し、情報発信や都サ連の活動を紹介します。
- (4) 都サ連としての活動
昨年度と同様に、関係団体と協力しながら、各種運動・活動を続けていきます。都サ連として、以下の活動に積極的に参加します。（ ）内は2015年度 委員名
 - ① 東京都聴覚障害者福祉対策会議（高田直樹、林紀子）
 - ② たましろの郷後援会役員会（神保沙織、天野京子）
 - ③ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会（三村和成、高田直樹）
 - ④ 自立支援センター運営委員会（高田直樹、杉石めぐみ）
 - ⑤ 東京都のろう教育を考える会実行委員会（高田直樹）
 - ⑥ また、自立支援センターまつり、たましろフェスタ、耳の日記念文化祭などに積極的に参加協力します。
- (5) 加盟サークル間の交流と情報交換
2016年度も代表者会議の進め方や時間の使い方を工夫します。加盟サークル間の交流を重視し、情報交換及び交流の方法についても工夫していきます。
- (6) 事務局の体制
事務局の体制を見直し、運動が継続できる体制作りを目指します。事務局員・各委員の募集のしかたを工夫し、加盟サークルのメンバーが参加しやすい事務局を目指します。
- (7) 会計
本年度も単年度会計の健全化を目指します。

2) 年間計画 (案)

事務局長：河野悠子

1. 会議等開催日程 (案)

(1) 担当者会議

回	月	日	曜	内 容	開 催 会 場	担当ブロック
1	4	29	祝	定期総会	渋谷区 リフレッシュ氷川	事務局
2	6	26	日	例 会	立川市 高松学習会館	多摩北ブロック
3	8	28	日	例 会		城南ブロック
4	10	23/30	日	例 会		多摩南ブロック
5	12	11	日	例 会		城北ブロック
6	2	26	日	例 会		多摩北ブロック

(2) 事務局会議

回	月	日	曜	開 催 会 場	備 考
1	4	7	木	世田谷区 下北沢らぷらす	
2	4	17	日	王子障害者スポーツセンター	議案書印刷・発送
3	5	11	水	世田谷区 下北沢らぷらす	
4	6	8	水	世田谷区 下北沢らぷらす	
5	7	13	水	世田谷区 下北沢らぷらす	
6	8	10	水	世田谷区 下北沢らぷらす	
7	9	14	水		
8	10	12	水		
9	11	9	水		
10	12	7	水		
11	1	11	水		
12	2	8	水		
13	3	8	水		

(3) 一日研修会

回	月	日	曜	担 当	開催会場
1	9	18	日	城北ブロック	北区 赤羽会館 1階ホール
2				事務局	

2. 協力行事&日程 (予定)

月	日	曜	行事名	組織等
7	18	月・祝	第18回 自立支援センターまつり	実行委員会
10	9	日	たましろフェスタ 2016 in 町田	当日要員
3	4/5	土/日	第46回 耳の日記念文化祭	実行委員会

3. 来年度の主な活動(案)

(1) 都サ連を知る・都サ連を知ってもらう。

①都サ連のPR・加盟案内

- ・区市会長会議での地域サークル加盟のお願い…継続
- ・未加盟サークル訪問について都サ連としてのスタンスを明確にする。
- ・それに伴い、パンフの内容を再検討する。

②都サ連とは何か、加盟サークル間で共通認識をもつ

- ・新会則に則って、役員組織、事務局会議、担当者会議等の位置づけを整理する。

(2) 加盟サークル同士を知る。

①親睦をはかる

- ・顔の見える会議形態 …継続
- ・都サ連主催の忘年会等の企画 …継続

②情報交換

- ・加盟サークルの活動日一覧表の配付 …継続
- ・サークルからの疑問・質問に対する情報交換 …継続
- ・手話サークルに相応しい例会企画等についての情報交換 …継続
- ・都サ連通信、ホームページ、メールで各種行事・企画を発信・共有する …継続

(3) 話し合いで見つかった問題や実際に行った活動を整理する。

- ・出された意見の集約・整理を行い、次の検討課題につなげる。
- ・紹介してもらった模擬例会・模擬イベント等を、サークル運営の参考資料として応用できる形に都サ連でまとめ、必要なサークルに提供する。

(4) 東日本大震災を教訓として、都サ連で出来ることを考える。

①経過 (2010年度～2015年度)

- ・ろう者の見た被災地：「被災地を取材して」今村氏・「被災地を訪れて」江副氏
- ・都サ連から高田代表と広報山崎氏が現地視察、会員に現状報告
- ・被災地三県から講師を招いて講演・東京の防災委員を加えての話し合い
- ・宮城被災地へのバスツアーを実施 (現地視察、現地ろう協・サークルとの交流)
- ・福島被災地へのバスツアーを実施 (現地視察、現地ろう協・サークルとの交流)

②2016年度

- ・検討中。

2016年度(2016.4.1～2017.3.31)収支予算(案)

収入の部

(単位:円)

	2014年度決算	2015年度決算	2016年度予算	備 考
分 担 金	130,000	130,000	130,000	26サークル×5000円
雑 収 入	118,857	138,357	0	
前年度立替金	3,120	4,346	6,905	H27年度郵送費立替分未収金6,905円
繰 越 金	190,227	202,183	317,455	
合 計	442,204	474,886	454,360	

支出の部

	2014年度決算	2015年度決算	2016年度予算	備 考
通 信 費	10,578	11,746	13,000	総会資料26サークル×140円 都サ連通信10団体×6回×140円
F A X 代	2,000	2,000	2,000	FAX代
広 報 費	7,660	180	10,000	都サ連パンフレット作成費
消 耗 品 費	4,926	2,567	10,000	封筒、コピー用紙、コピー代等
交 際 費	19,080	26,080	20,000	年賀広告(東聴連、中・難協)8,000円 大会参加費(東聴連、中・難協)8,000円
会 議 費	3,900	5,460	10,000	事務局会議 300円×12回 代表者会議 3,000円×2回
交 通 費	135,184	102,493	150,000	会議・委員会交通費、その他活動交通費
事 業 費	52,347	0	10,000	都サ連活動・行事等の補助 (一日研修会・バスツアー等)
雑 費	0	0	3,000	
今年度立替金	4,346	6,905	0	欠席サークル資料郵送費立替
予 備 費	0	0	226,360	
小 計	240,021	157,431	454,360	
繰 越 金	202,183	317,455	0	
合 計	442,204	474,886	454,360	

特別引当金	600,000
-------	---------

※引当金：将来の支出に備え準備してあるお金

東京都手話サークル連絡協議会 会則

(名称)

第1条 本会は、東京都手話サークル連絡協議会と称する。

(住所)

第2条 本会の住所は事務局長宅とする。

(目的)

第3条 本会は、東京都内の手話サークルの恒常的交流と質的发展を図り、聴覚障害者団体及びそれを支援する団体との連携を強めていくことを目的とする。

(構成)

第4条 本会は、東京都内に拠点を置き活動する手話サークルによって構成される。

(活動)

第5条 本会の目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 各手話サークルの抱える問題、課題を協議し、解決を目指す。
- (2) 研修会などの諸活動を行う。
- (3) その他、必要な活動を行う。

(機関)

第6条 本会の活動は次の機関で運営される。

- (1) 総会
- (2) 担当者会議
- (3) 事務局会議

(財政)

第7条 本会の事業年度は、4月1日から翌年の3月31日までとし、事業年度ごとに事業計画と収支予算を作成するものとする。

2 本会の経費は、次の収入によってこれに充てる。

- (1) 各サークルの分担金
各サークルの分担金は年間5,000円とする。
- (2) その他

3 本会の口座管理は、事務局長が行う。

(ブロック編成)

第8条 本会に所属するサークルは、地域別にブロックを編成することができる。

(総会の構成)

第9条 総会は本会の最高決議機関とし、加盟サークルの過半数の出席を以て成立する。

2 第1回目の会議を総会とする。終了後、必要に応じて担当者会議に移行できる。

3 議決権は1サークルに1つとする。

(総会の議決)

第10条 議決は出席サークルの過半数をもって決定する。

(総会の委任)

第11条 やむを得ず総会に出席できないサークルは、議長に議決権を委任することができる。この場合、委任するサークルは、委任状を事務局へ提出しなければならない。

(総会の付議事項)

第12条 次の事項を総会の付議事項とする。

- (1) 活動報告
- (2) 会計報告
- (3) 活動方針
- (4) 年度予算
- (5) 役員を選任及び解任
- (6) その他運営に関する重要事項

(担当者会議)

第13条 担当者会議は、各サークルで選出された担当者が構成し、原則として年に6回開催する。

(役員)

第14条 総会において、本会の役員として代表1名、事務局長1名および会計1名を選出する。

- 2 役員任期は1年とする。
- 3 本会は、所属サークルの推薦を受けた者を事務局員として任命することができる。
- 4 代表は事務局員の中から、副代表1名を選び、指名することができる。

(事務局会議)

第15条 事務局会議は代表、事務局長、会計および事務局員で構成する。

(会則の改定)

第16条 この会則を改定するときは、総会において加盟サークルの3分の2以上の賛成を必要とする。

附則

この規約は、昭和52年(1977年)2月16日より施行する。

附則

この会則は、平成27年(2015年)4月29日から施行する。

(改定経過)

1. 1990年4月29日(日)開催の第1回代表者会議において
第7条 1. 各サークルの分担金
分担金年間3,000円を4,000円に改定。
2. 2003年4月27日(日)開催の第1回代表者会議において
第7条 1. 各サークルの分担金
分担金年間4,000円を6,000円に改定。
3. 2008年4月27日(日)開催の第1回代表者会議において
第6条 機関
「代表は事務局員の中から、副代表(1名)を選び、指名することができる。」
を追加。
4. 2009年4月26日(日)開催の第1回代表者会議において
第7条 1. 各サークルの分担金
分担金年間6,000円を5,000円に改定。
5. 2012年8月26日(日)開催の第3回代表者会議において
会計事務手続きに伴い、第2条の表記を変更し、第7条に口座管理者を追加。
6. 2015年4月29日(祝)開催の総会において
「規約」を「会則(条文等の構成を含む)」に改定。

3. 役員改選

東京都手話サークル連絡協議会 会則 第 14 条に則って、下記役員の改選を行う。

代 表 （1名）

事務局長（1名）

会 計 （1名）

副代表（1名）（必要に応じて代表が事務局員の中から指名）

事務局員（所属サークルの推薦を受け任命）

今年度の事務局会議は、第2水曜日・夜間の予定

～*～

その他、都サ連から選出する委員・実行委員・担当者 等

1. 各委員会 委員

東京都聴覚障害者福祉対策会議 委員（第1月曜日・夜間）

自立支援センター運営委員会 委員（第2土曜日・午前）

たましろの郷後援会 役員会 委員（第2月曜日・夜間）

東京都聴覚障害者の参政権保障委員会 委員（第3月曜日・夜間）

東京都のろう教育を考える会 実行委員会 委員（不定期開催）

2. 各種行事 実行委員

第18回 自立支援センターまつり（※実行委員会は概ね月曜日の予定）

第46回 耳の日記念文化祭（※事務局会議は概ね月曜日の予定）

3. 当日要員

たましろフェスタ 2016 in 町田（10月9日(日) 開催予定）

4. 広報班（サークル訪問・ホームページ管理・その他の広報活動）

5. 会議記録担当（福祉対策会議・地域担当者会議など）